

～物語から広がる世界～

単
元
名

サバンナの夕日

教科書出版社名（ 日本文教出版 ）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 図画工作 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

・物語の情景を思い浮かべながら、絵に表してさらに想像を広げて物語をつくる力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・様々なイメージを思い浮かべることができるように、図書館で本を選ぶ。
- ・物語を読んで思い浮かんだ情景をみんなで話し合う。
- ・心が動いた場面の様子や自分の思いが表れる画面の構成を考えるため、個別に支援する。

○ 学習の展開（全4時間）

第1次 であい （図書館）	・本を読んで、サバンナの環境や動物について知る。 ・本を読んで、思い浮かべた情景について話し合う。 ・サバンナの情景を思い浮かべて絵に表すという見通しをもつ。
第2次 ひろがり	・心が動いた場面をいくつか選び、アイデアスケッチをしてから、描く場面を決める。 ・場面の雰囲気が伝わるように、夕焼け空を描く。 ・ストーリーをもたせて動物の下絵を描く。 ・選んだ場所や動物の様子（動き・遠近・高低・大小）を工夫する。
第3次 ふりかえり	・自分や友だちの作品を見ながら、絵について文章に表したり、話し合ったりする。 ・教室や壁面に展示された作品を鑑賞する。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・図工の作品作りに興味や関心を持ち、イメージや創作に見通しをもつ手立てとして図書館の活用は効果があった。
② 児童の感想・ふりかえり	[絵を見てお話作り] 『二頭のキリンがいます。他の動物からずっと逃げているのです。そして、走りつかれたので、ご飯を食べにいこうと一本の木の所に行きました。ところが、葉っぱを食べようとしたのに葉っぱは1枚もありません。キリンは、「枝しかないよ～」と言いました。それもそのはず、サバンナは雨が全然降らないのでなかなか木が育たないのです。他の動物たちから必死に逃げているキリンたちは、葉っぱがないことをすっかり忘れていたのです。お腹をすかせた二頭のキリンはどうなるのでしょうか。』 [振り返り] ・絵をお話にするのは初めてだった。「おみやげ」という本の話聞いて、サバンナの動物たちのお話をこのように書くのだということがよく分かった。 ・最初はあまりお話を考えていなかったけれどいざ描き始めたらお話が浮かんできて楽しかった。 ・夕やけの色はみんな違ってきれいだった。動物も本で見て、とても細かく描いてむずかしかったけど、自分の世界のサバンナができた。 ・先生に本の読み聞かせをしてもらって絵を描く時に本を参考にした。内容を知りたくなったので、読んでみようと思った。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・学習活動に必要な本（サバンナの動物や情景）を準備するために、学習に関わる職員間の連携を密にすることを心がけた。 ・教室で図書館の本を活用することができるようにし、図書館担当教諭が学習計画を把握して教室の学習を支援した。

[サバンナの動物や様子についての参考文献]

読み聞かせ

- ・動物絵本シリーズ・アフリカ 「おみやげ」 吉田 遠志 (福武書店)

紹介した本

- ・動物絵本シリーズ・アフリカ (福武書店)
 - 「はじめてのかり」 「まいご」 「かりのけいこ」 「おもいで」 「かんちがい」
 - 「ありづか」 「まちがったかわ」 「きえたにじ」 「あしおと」 「たびだち」
 - 「よびごえ」 「じひびき」 「ふるさと」
- ・どうぶつの赤ちゃん 増井 光子 = 監修 (金の星社)
 - 「シマウマ」 「ライオン」 「ゾウ」 「キリン」
- ・羽仁 進の愛情いっぱい動物記 (ひかりのくに)
 - 「さいの ぼうやは あまえんぼう」 「がんばれ！きりんの こどもたち」
 - 「しまうまの おとうさん」 「はしれ！ちびっこチーター」
 - 「ヌーのたび」 「だちょうのひなが うまれたよ」
- ・「かたあしだちょうの エルフ」 文・絵 おのき がく (ポプラ社)